

点眼薬について

点眼薬を処方されて、実際に自分の使っている点眼薬が何の薬か理解して使用している方は少ないのではないのでしょうか。

まずは、点眼薬の認識不足によるトラブルをご紹介します。

①点眼薬のキャップの色しか覚えていない。

残念ながら使用している全ての点眼薬が色分けされているわけではないようです。

②流れるほどたくさん点眼したほうがよく効くと勘違いしている。

目に吸収できる量が決まっています。1滴点眼するだけでも大半は無効になっていきます。

③点眼しているものが何の薬かわかっていない。

十分な説明を受け、お薬手帳で確認していきましょう。

④点眼回数、順番、時間を間違えている。

副作用の出るお薬もありますので、点眼回数を守ってお使いください。

⑤点眼の間隔を空けていない。

間隔を空けないと、お薬が流れ出てしまいます。5分、間隔を空けましょう。

⑥いつ開封したかわからない点眼薬を大事に使い続けている。

衛生上の問題から、基本的には開封してから1ヵ月までが使用期限となっています。防腐剤が含まれない点眼薬や混合させて使用する点眼薬については7~10日

が期限のものもあるため、注意が必要です。

⑦冷蔵保存が必要な点眼薬を常温保存している。

点眼薬によって保存方法が室温保存、冷所保存、遮光が必要なものに分かれています。保存方法をしっかり確認しておきましょう。

⑧他人の点眼薬を借りて点眼している。

点眼薬はその人の症状に合わせて処方しているため、他人の処方された点眼薬を使い回すことは絶対に避けなければなりません。とくにステロイドは、使用することで眼圧が上昇するステロイドレスポonderと呼ばれる人もいるため、衛生的なことも含め必ず自分に処方されたものだけを使用しましょう。



pixta.jp - 2067211



次に、病気の認識不足によるトラブルをご紹介します。

⑨自己判断で勝手にやめてしまっている。

症状が良くなったからといって勝手に点眼治療をやめてしまう方がいますが、点眼治療は急性期のみならず、再燃予防のために使用していることもあるため、必ず医師の指示に従って点眼方法を変えていく必要があります。

⑩点眼する目を間違えている。

必ずしも両眼同じ症状とは限らないため、点眼する目を間違えない様に。

⑪診察前に必要な点眼をしてきていない。

調節麻痺薬や手術前など、1週間前から点眼しないと正しく効果が出ないものもあります。

⑫受診日に来ない。

点眼していない期間があると重大な障害を引き起こす可能性があるため、受診日の予約をした際には、しっかり受診しましょう。

最後に、点眼方法の仕方によるトラブルをご紹介します。

⑬点眼がうまくできず目に入っていない。

しっかり点眼されていないと、見込まれる治療効果に差がでます。

点眼が困難な場合は補助器具もあります。

⑭点眼ボトルの先が目当たっている。

眼表面には多数の常在菌があり、とくに高齢者や抗菌薬を長期投与している方ではMRSAを保持している可能性があります。基本的に点眼ボトルの先が接触したものは、使用をやめるようにしましょう。

**ご使用の点眼薬で
不明な点がございましたら、
医師、看護師にご確認ください！！**



